

麻疹(はしか)が世界的流行中！

どんな症状？

潜伏期間 10～12日

風邪に似た症状
鼻水・咳・熱

感染力强！

治療は？

残念ながら治療法はなく、解熱剤や点滴などの対症療法が中心です。合併症を起こした際に抗生薬の使用が必要です。

併発症は？

30%の患者さんに何らかの合併症がでます。その半数は肺炎です。死因で多いのは肺炎と脳炎です。

先進国でもかかると1000人に1人は亡くなります(インフルエンザは10000人に1人)。インフルエンザの10倍の死亡率！(日本では2000年前後の流行の際、20～30名/年の死亡)。

脳炎 1000例に1例。思春期以降の死因として多い。6割は回復するが25%は後遺症、致死率15%。

中耳炎 5～15%の頻度。最も頻度が多い合併症の一つ。

肺炎 乳児の死亡例の6割は肺炎。

亜急性硬化性全脳炎(SSPE) 10万例に1例。麻疹にかかった5～10年後くらいに発症し、知的障害やけいれんを合併する。治療法はなく、とても予後の悪い難病。

口の中に白い斑点
全身に赤い発疹

7～10日発熱

免疫力低下

しっかり回復まで約1ヶ月

麻疹(はしか)は麻疹ウイルスによる感染症です。

空気感染、飛沫感染など様々な感染経路をとり、非常に感染力が強く、手洗いやマスクでは防げません。

ワクチン接種の効果で、日本は2015年に「麻疹排除の認定」を受け、その後は海外からの輸入例や輸入例からの感染例を認めるだけにとどまっていたましたが、今年は米国や英国で感染者が増加しており、日本でもすでに20名を超える感染者が確認されております。

子どもは1歳と6歳時点でワクチン定期接種の対象となるため、適切な時期にワクチン接種をお勧めします。

大人でも重症化することがあり、1000人に1人が死亡するような感染症ですので、まだワクチンを接種できないお子さんがいるご家庭は、人ごみを避けたり、大人が予防接種をするなど対策が必要です。特に、1972年10月1日～2000年4月1日生まれの方は、1回接種のみの可能性が高く、抗体がなくなっていることもありますので、感染リスクが高い方はお早目の接種を！

スタッフおすすめ絵本



『ともだちほしいな
おおかみくん』
作・さくら ともこ
絵・いもと ようこ

ほんとうは、とってもさみしがりやでやさしいのに、森のどうぶつたちは、おおかみくんをこわがって、あそんでくれません……。

春は出会いの季節。見た目で判断せず、相手のことを知る大切さに気づかせてくれる絵本です。友だちができたときのおおかみの大粒の涙に心動かされます。

～ 今月の予定 ～

11日(木) ベビーマッサージ 10:30～

16日(火) 赤ちゃん健康講座
「うんちのお話」 10:30～

24日(水) 我が子をかわいく撮るコツ講座 11:00～

25日(木) 親子で楽しむこいのぼり製作
26日(金) ※開所時間内いつでも

27日(土) ベビーと楽しむヨガ講座 10:30～

30日(火) お誕生会 11:00～
※10:30までに来所

★講座の詳細は、施設内掲示/ホームページ「おしらせ」/公式LINE「投稿」をご覧ください。

★ご予約は公式LINEよりお願いいたします。

